

## 花を愛でる縦走 白馬大池～白馬岳縦走報告

【山城】北アルプス・白馬岳

【日程と天気】2019年7月6日（土）～7日（日）（7/6 曇り時々晴れ間少雨・7/7 少雨）

【メンバー】CL 菊池・鶴田・寺崎・井上（志）・磯部・山内・神崎・SL 瀧瀬（記）

【行程】

1日目 千葉3：00頃一栂池高原スキー場ゴンドラ～栂池自然園9：40～天狗原～白馬乗鞍岳～14：50 白馬大池山荘（泊）

2日目 白馬大池6：40～8：52 小蓮華山～三国境～10：55 白馬岳山頂～村営白馬頂上宿舎～小雪溪トラバースー大雪溪一白馬尻小屋～16：40 猿倉ータクシーで栂池高原スキー場駐車場



・梅雨の真最中、天気予報に翻弄され、天くらの「Aランク」予想に期待と願いを込めて花々を愛でに白馬岳に行ってきました。

出発時に降っていた雨も、関東北部を抜けると止み期待に胸が膨らみます。栂池高原スキー場の駐車場に到着すると、登山客が数組いる位でがらんとしています。駐車料金は1日500円。ゴンドラは山岳連盟の会員証やJAF会員証があれば5名まで1割引で利用出来ます。

全く待ち時間のないゴンドラに乗り込みしばらく行くとガスガスの中に……。しかし終点まで行けばガスはすっかり晴れ、目指す白馬岳と青空が迎えてくれました。



9：40 スタート。早速ベニバナイチゴ、シラネアオイ、水芭蕉、リュウキンカ、サンカヨウがお出迎いです。11：45 天狗原に着くとコバイケイソウ、チングルマも咲いています。



ややガスが出てきた雪渓を軽アイゼン装着して隊列組んでスタート、初お目見えのキバナシクナゲに癒されながら急斜面を登り 13:30 乗鞍岳に到着。



本日の宿泊地の白馬大池山荘はもう少し。ゴロゴロ岩の道を行くと、白馬大池の姿が見えて来ました。池の周りは流氷みたいな残雪がぷかぷかしています。



小屋の周辺にはお目当ての美しいピンク色の白山小桜とハクサンイチゲがたくさん咲いています。しばしお花の観賞。今年は雪が多く、開花はやや遅めのようです。

こんなお天気のためか、小屋の宿泊客は50人程。天候が悪くヘリでの荷揚げが出来ないとのことで、予定していたチキンカツカレーがカレーになり、料金が1,500円値引きになりました。夕食までの時間、それぞれ担ぎ上げたビール、ワインとおつまみで乾杯です。

夕食が5:30から、その前に外に出てみるとガスが晴れてきて青空が広がってきた。酔いが回った小生と3名は外でおどけながら記念撮影した。



外はすっかりお天気かと思えば、急にガスガスになったりして、天の川が見られるかもと期待しつつも、早めの就寝につきました。

2日目 4:30起床。5:30朝食。外は雨がシトシト降っています。天気予報を調べたくても携帯の電波がないので、船越ノ頭まで行けばネットで天気予報の確認が出来るからと、引き返すことも考慮し、6:40出発。左側から風も吹き付け、冷たい雨に打たれた頬が凍えるようです。そんな矢先に雷鳥坂で夏毛に生え変わった雷鳥が2羽！ラッキー！

7:40 船越ノ頭に到着。天気予報は変わらずAランクで、空もやや明るくなってきたので、予定通りに大雪渓を降りることになりました。

長い時間雨風に当たり、低体温症にならないように注意しながら、小蓮華山を目指す途中から色とりどりのお花（ミヤマダイコンソウ、ハクサンイチゲなど）が、雷鳥が私たちを迎えてくれました。スタートして2:12で小蓮華岳山頂に到着しました。



稜線は風が強いが小蓮華岳山頂は意外が弱い。視界は相変わらず悪く、白馬岳登頂を目指すことに決定したため長居はせず、すぐに三国境に向かいました。少し進むといよいよウルップ草のお出ましです。キレット地形の厳しい環境でも。強風にあおられながら凜として咲いているウルップソウに見とれるメンバーをCLはスパッと切れ落ちた奈落の底をバックに落ちないように注意して撮影していました。



そしてさらに進むといよいよツクモ草の登場しました。

ウルップソウ、コマクサ、ツクモ草・・・実は私の今回の目当ては、八ヶ岳の横岳とここ白馬岳にしか咲かないツクモ草に会うことでした。雨に濡れてしまい、すっきりと花卉を開いた姿は見られませんでした。可憐な姿に感激しました。シナノキンバイの隣にツクモ草がいっぱい咲いていました。



三国境で休憩し、しっかり行動食を摂取し、いよいよ白馬岳山頂への最後の登りです。急な岩稜地帯が 3 か所あり、強風の中最後の頑張りです。傾斜が緩んでいよいよ頂上に近づくとお花畑状態になります。オヤマノエンドウ、ハクサンイチゲ、ウルップソウにイワベンケイなどなどです。好天であればゆっくり愛でながらですが残念ながら視界不良の中、最低限の写真撮影をしながら山頂に急ぎました。



ついに 10 : 50 白馬岳山頂に到着しました。初登頂の 2 名を前面にして記念撮影です。



残念ながら悪天のため 360 度の大パノラマは次回にお預けで、寒い中、白馬山荘まで下ります。村営白馬岳頂上宿舎までの下りは風が強く、低体温症が頭をよぎりました。村営小屋の風を避けられるところで休憩、しっかり行動食を摂取しました。いよいよ大雪溪への下山です。村営小屋直下にはウルップソウとハクサンイチゲの素晴らしい群落があります。停滞すると寒いので、CLのみ撮影しながら最後尾からついてきました。



この時期、このポイントでしか撮影できないウルップソウとハクサンイチゲ共演のグレイトショット（最初の写真）をゲットし、ラッキーチャンスをものにしました。

12:55 途中トラバースを軽アイゼン装着し、通過後はまたしばらく外してと、安全に配慮して高度を下げて行きます。CLとIさんが通過後、一瞬変な音がしたと思ったら、矢印の大きな岩が1mほどか動いて一同びっくり。予め落石注意を喚起されていましたが、このような事態を目の当たりにすると、さらに慎重に気を張りながら下ります。



葱平辺りで大きな落石（土石流様）の跡が・・・再度アイゼンを到着して上を見上げるとゴロゴロと岩が落ちてきます。雪の上では音がしないので、常に上を確認しながらでなくては危険だと思いました。大雪溪に入り初めのうちは2~3回ほど小さな石の落石を目撃し「ラク、ラク」と叫び注意しあいました。幸い我々から離れているエリアでしたが、最後まで気は抜けません。



アイゼン再装着し大雪渓に入る



今年は5月に、これまでにないほどの大規模な岩なだれが起こっており、その脇を通過します。50年ぶりに大雪渓を訪れたISさんはゆっくり慎重に下って行きます。



全員揃ったところで最後の記念撮影です。15:00 大雪渓終点までできました。シーズン入り間もなく、悪天候のため登山客はごく少なく大雪渓にいる登山者は先行の2人組と我々のみでした。間もなく長蛇の列の時期が来るでしょう。まだ開業準備中の白馬尻小屋でトイレ休憩し猿倉まで約1時間、夏道登山道を下るのみです。



白馬尻小屋から

白馬尻小屋の前後の道すがら、シラネアオイ、キヌガサソウ、サンカヨウを愛でながら、猿倉に4:40全員が下り立ちました。



大輪ノートパソコンキヌガサソウは例年のようにやはり圧巻でした。



猿倉まで休憩を入れ、約 10 時間の行動時間でした。期待通りの好天には恵まれませんが、メンバーそれぞれの思いと反省点がありますが、皆さんの頑張りで素晴らしい山行であったと実感できました。

晴れていたらきっと快適なお花見山行になっていたことでしょう。しかし今回は悪条件

の北アルプスを経験できた事で、持ち物等の良い勉強の機会にもなったと思いました。

夏でも防寒用に手袋の予備としてレインタイプを。中間着として薄手のフリースを。  
そしてテルモスに温かいお湯を。再確認することが出来ました。